

五・ソフトカバーの絵本を作る

ここで紹介するソフトカバーの絵本は、「手づくり絵本の会 プラス」の代表者である山岸清太郎さんが考え出した方法です。紙と糊と色鉛筆だけで絵本を作ることができます。手作り絵本の基礎を学ぶ上でたいへん有効なやり方です。

先年、奈良県立美術館が開催した『プラステイラバ絵本原画展』の期間中、たくさんの方が山岸さんの考え出した方法で手作り絵本を楽しみました。また、奈良教育大学教育資料館で学生たちが企画運営する『手づくり絵本展覧会』のイベントのひとつとして、山岸さんをゲストティーチャーとしてお迎えし、幼児から高齢の方まで毎年ソフトカバーの手作り絵本を楽しんでいます。

次に掲げるのは山岸さんが作ったマニュアルです。

1. 次の材料を用意します。※特に用意する道具はありません。
 - ・ 八つ切り半分程度の大きさの画用紙五枚と、同じ大きさの色画用紙二枚
 - ・ 口紅型の糊（小さいものでよい）
 - ・ 絵を描くための画材（クレヨン、クーピー、色鉛筆）。クレパスはなるべく使わないこと
 - ・ 糊が余計なところにつかないように下敷きにする、表面がつるつるの広

告 チランシニく三枚

- 二. 最初に、四枚の画用紙に絵を描きます。画用紙は片面だけを使います。絵を描くのが苦手な人や、すぐには描く題材が思い浮かばない人は、「○△□」方式を試みてください。気軽に描画に着手することができると思います。
- 三. 絵が描けたら、絵を描いた方を内側にして四枚ともきちんと二つ折りします。
- 四. 二つ折りしたものを、向きを同じにして一枚目から四枚目まで順番に揃えます。
- 五. 色画用紙二枚も同じようにきちんと二つ折りして、同じ向きで一枚目の前と四枚目の後ろに置きます。これは「見返し」になります。
- 六. 順番に揃えた計六枚(画用紙四枚と色画用紙二枚)を糊で貼り合わせます。
- (一) 糊は、二つ折りしたものの外側(画を描いていない方)の左右両側に、幅二センチ程度つけます。上下にはつける必要はありません。
- (二) 糊は分厚く塗るのではなくて、ムラのないように塗りましょう。
- (三) 貼り合わせ終わったものを「本紙」といいます。
- 七. 残った画用紙一枚も二つ折りますが、真ん中に本紙の厚み分だけ幅を作るようにします。これが「表紙」になります。
- (一) まず紙の端から本紙の厚みだけずらせて二つ折ります。

(二) つぎに、一旦二つ折りを元に戻して、そのまま向きを反対にします。

(三) (一)と同じ要領で、また二つ折りします。

(四) もう一度二つ折りを元に戻して、真ん中に「本紙」の厚みだけの折り幅ができているのを確かめましょう。

八. 二つ折りした表紙の間に、本紙を挟んで糊つけします。

(一) 糊は、表紙の内側の、上下左右の辺に、幅二センチ程度つけます。

(二) 画用紙と色画用紙が同じ大きさなので、本紙が表紙からはみ出します。そのままにして、見返しの色を楽しんでください。

(三) ページを開くのは、糊が乾いてからにしましょう。

九. 表紙の表に「表題」と「作者の名前」を、表紙の裏に今日の日付を書きます。本で最初に目にするのは表紙ですから、目を引くように表題とデザインを工夫してみましょう。これで、ソフトカバーの手作り絵本が完成します。

この方法は、短時間で作れる、絵が四枚（八ページ）と柔らかい表紙という一番単純な絵本作りです。基本をしっかりと組み込んでいるので幼児の制作に適しているだけでなく、手作り絵本を作るのがはじめての大人にも適しています。なお幼児の場合は、保護者も一緒になって作りましょう。

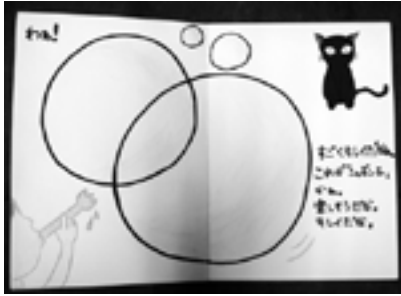
絵本を作った経験のない奈良教育大学の学生三十名にこのマニュアルを配布して事前の説明をしないで、いきなり絵本を作ってもらいました。

学生たちはマニュアルを熱心に読んで、ソフトカバーの絵本作りに取り組みました。はじめは一時間以上かかるのではないかと予想しましたが、早い学生は二十分ほどで仕上げることができました。色塗りにこだわった学生でも四十分ほどで作ることができました。色を塗るだけでなく色紙を貼りつける学生もいました。今回は○△□を使って絵を描き、あとで文を書き入れました。絵を描いた本紙は四枚だけでしたが、この発展として本紙を増やすことも自由にできます。学生の作品をつぎに紹介します。

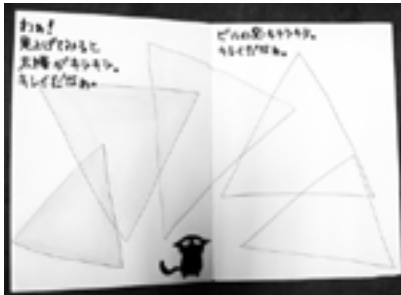
ソフトカバーの絵本

『クロのおさんぽ』

○△□をもとに、絵を描きました。



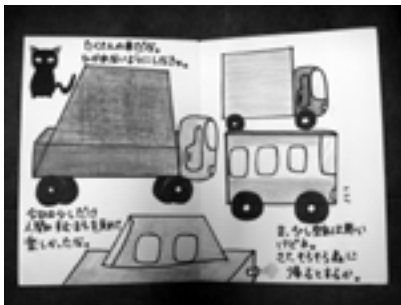
三



四



一



五



二